

火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討会（令和5年度第1回）議事要旨

1 開催日時

令和5年5月31日（水）15時00分～17時00分

2 開催場所

中央合同庁舎第2号館3階
消防庁第一会議室

3 出席者

（1）委員（敬省略、順不同）

田村 昌三（座長）、朝倉 浩一（書面審議）、新井 充、岩田 雄策、芝田 育也、高橋 文夫
鶴田 俊、三宅 淳巳

（2）オブザーバー（敬省略、順不同）

石川 裕介（厚生労働省）

（3）事務局

加藤 晃一、合庭 貴信、佐藤 匠、長嶺 将彦

4 配布資料

〔資料Ⅰ－1〕「火災危険性を有するおそれのある物質」の調査方法（案）

〔資料Ⅰ－2〕「消防活動阻害性を有するおそれのある物質」の調査方法（案）

〔資料Ⅰ－3〕臭素酸カリウムに係る対応について（案）

〔資料Ⅰ－4〕今年度の検討会スケジュール（案）

〔参考資料Ⅰ－1〕 開催要綱

〔参考資料Ⅰ－2〕 委員等名簿

〔参考資料Ⅰ－3－1〕 消防法令抜粋①（消防法上の危険物の定義、試験方法など）

〔参考資料Ⅰ－3－2〕 消防法令抜粋②（消防活動阻害物質関係）

〔参考資料Ⅰ－4〕 令和4年度第3回火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査
検討会議事要旨

〔参考資料Ⅰ－5〕 火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討報告書
（令和4年度）

5 議事内容

(1) 座長選出

【事務局】 事務局推薦案について各委員異議（意見）なしのため、田村委員を本検討会の座長として選出する。委員全員の了承を得た。

(2) 「火災危険性を有するおそれのある物質」の調査方法（案）について

資料Ⅰ－１により事務局から説明が行われた。

意見等はなし。

【座長】 案の通り進めていただきたい。

(3) 「消防活動阻害性を有するおそれのある物質」の調査方法（案）について

資料Ⅰ－２により事務局から説明が行われた。

意見等の概要は以下のとおり。

【事務局】 毒物劇物部会の今年度のスケジュールをオブザーバーから意見をいただきたい。

【オブザーバー】 日程調整中ではあるが、毒劇物調査会を８月頃、その後、３ヶ月以内に毒物劇物部会の開催を予定している。

【事務局】 審議予定の物質等はあるのか。

【オブザーバー】 劇物３物質の除外を審議する予定である。

【座長】 承知した。それでは例年通りに進めていただきたい。

【事務局】 毒物劇物の指定方法の変更を検討しているとのことなので変更の概要についてオブザーバーから説明いただきたい。

【オブザーバー】 従来の考え方は、政府による GHS 分類で急性毒性があるとされる物質、危険物輸送に関する国連勧告の危険物リストで 6.1（毒物）、8（腐食性物質）に分類される物質及び年間流通量が 100t 以上となる物質の要件を全て満たす物質が候補物質として抽出され、候補物質に対して文献調査や毒性試験等のリスク評価を行った後、毒物劇物部会で審議、指定する方法であった。

従来の毒物劇物指定については、純粋に化学物質のハザードに着目して新規指定しているため、用途等を考慮しておらず、工業原料や中間体を毒劇物として多く指定しており、そのことが必ずしも一般国民の保健衛生上の危害の防止に繋がらないとの意見もあることから、見直しを検討している。

【座長】 今後は社会的な影響についても考慮した指定方法を検討するということか。

【オブザーバー】 毒物劇物に対する社会的な認識により、新たに毒物劇物に該当することになった製品自体が製造されなくなってしまうといったことも発生していることから、より慎重に指定方法の見直しを行う必要があると考えている。

(4) その他

資料Ⅰ－３により事務局から説明が行われた。

【委員】 先週、OECD-IGUS の EOS のワーキンググループへ参加したが、ヨーロッパの

酸化剤のワーキンググループにおいても臭素酸カリウムの代替品の実験を行っており、主に化学品メーカーを中心に検討が進められている。0.1、0.3の試験方法については、臭素酸カリウムの代替品と同様にセルロースの代替品も検討されている。主要メーカーの代替品がほぼ決まっていると聞いている。

臭素酸カリウムの代替品としての過酸化カルシウムについては、実験等の検討は進んでいるが、しばらく決定までには至らないと思われる。ただし、近日中にこれらの報告書が発出される予定であり、ヨーロッパでも過酸化カルシウムのメーカーが3社程度あり、各メーカーでの比較検討を行っているとのことである。その詳細も報告書で公表されると思われる。

【 座 長 】 今後も進捗があれば報告をお願いしたい。セルロースも検討を進めているのか。

【 委 員 】 おそらく、現在使用されている主要メーカーが製造をやめる可能性を踏まえての検討ではないか。こちらは代替品がほぼ決まっていると聞いている。

(5) 今後のスケジュールについて

資料 I - 4 により事務局から説明が行われた。

意見等はなし。

6 閉会

以上